

先日（令和3年5月13日）、利用者の方から本園に対するご意見を頂戴しました。翌14日に職員会議を開いてその内容を伝え、園として今後取り組んでいくべきことや保育士ひとりひとりが改善すべきことについて話し合いました。ここにその概要を掲載し、頂戴したご意見に対する回答とさせていただきます。今回、貴重なご意見をいただきましたことに感謝申し上げます。

○ 今年度からお迎えの際の様式が変わったことに対するご意見をいただきました。変更した理由について正確に伝わっていない部分もあったようで一部の方に誤解が生じてしまったようです。

→ 今年度から各クラスの部屋まで入っていただき、引き渡しをさせていただいております。その理由は、職員が外までお子さんを連れて行って引き渡す昨年までの様式では、一時的に保育室に職員が居ない状況が生まれることがあるためです。保育室内での引き渡しにより、職員が1名の場合でも他児の行動に目配りすることができることから変更させていただきました。また、陽が暮れるのが早い冬場は明るい保育室からお迎えにみえた方を確認することが難しく、気付けないという事案が度々あったことも様式を変更した理由の1つです。

○ お迎えの際にその日一日の児童の様子を伝えてほしいというご意見をいただきました。また、登園時に受入れ対応をしてもらえなかったとのご意見もいただきました。

→ 職員には怪我や問題行動の話だけでなく児童ひとりひとりのその日の様子をきちんと伝えるように話しました。ホワイトボードでクラス単位の活動について記すようになったことで、児童ひとりひとりの様子を伝えることが疎かになったのではという反省に立ち、児童ひとりひとりの様子を伝えることの大切さを再確認致しました。また、登園時の受入れ対応はクラス担任が行うのが原則ですので善処致しますが、何らかの事情でクラス担任が部屋に居ない場合には、近くにいる他の職員に一声掛けていただきたいと思います。

○ 兄弟姉妹のある利用者の方がお迎えにみえた際、クラス毎に話をしたい場合もあるので保護者の方がそれぞれのクラスへ赴くまで児童を待たせてほしいというご意見をいただきました。

→ 承知致しました。今後はそのように対応させていただきます。

○ 児童数、職員数とも減り、多目的室に集まった際、保育士間でのおしゃべりが目立ち、児童の引き渡しに来てもらえなかったことがある。そのようなことの無いようにしてもらいたいというご意見をいただきました。

→ 大変申し訳ありませんでした。不快な思いをされた保護者の方には改めてお詫び申し上げます。職員には、多目的室で合同となる時間はただ単にお迎えを待つ時間ではないということを伝え、保護者の方に引き渡すまで保育を実践しなければならないことを再確認致しました。もちろん、引き渡しの対応については先にお示ししたとおり実践致します。

職員との話し合いの中で、今回いただいたご意見に共通する課題として「園・保育士と利用者のコミュニケーション不足」があるのではないかと結論に至りました。

『保育指針』では「保育所は、その目的を達成するために、保育に関する専門性を有する職員が、家庭との緊密な連携の下に、子どもの状況や発達過程を踏まえ、保育所における環境を通して、養護及び教育を一体的に行うことを特性としている」とされています。

『指針』を踏まえ、今後にご家庭とより緊密な連携を図ることができるよう園として改善に努め、これまで以上にご家庭や地域に頼りとされる保育園を目指して励んで参りたいと思います。

その一環として、ご要望をいただきました懇談会の開催について検討していきたいと思います。どのような形式にするかなど詳細を固めるのに少々お時間をいただきたいと思いますが、懇談会の機会は持ちたいと考えています。また、クラスの様子をお伝えする写真展示も毎月1回は実施していきたいと思います。

最後に、今回利用者の皆さまからいただいたご意見には、昨年来の新型コロナウイルス感染症の影響で園行事が中止になったり内容や形式を変更して実施することとなったりして、子どもたちの園での活動の様子を直に見ていただく機会が少なくなっていることも影響しているのではないかと思います。川崎愛児園では、コロナ禍にあっても園児ひとりひとりの成長や発達についてご家庭にしっかりと伝えることができるよう努めて参ります。利用者の皆さまにおかれましては引き続きご理解とご協力、そしてまた貴重なご意見を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。